

令和5年度 第2回佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会 要旨

1 会議概要

日 時	令和5年10月3日（火） 13:30～16:15
場 所	佐久市中込交流センター（サングリモ中込1階）
出席者	佐久市立中央図書館建替再整備検討委員5名 植松貞夫、豊田高広、森いづみ、小木田順子、朝倉久美 事務局6名 依田社会教育部長、篠原館長、比田井事務長、平川係長、 高瀬専門員、中村主事
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 資料1 中央図書館の役割を考えるために：検討資料（2）</li> <li>・ 資料2 令和5年度第1回検討委員会開催後におけるアンケートについて</li> <li>・ 資料3 アンケートの回答を受けて</li> <li>・ 別紙資料 各種統計等</li> <li>・ 中込地区中央グリーンモール再整備の基本設計について</li> </ul>
	（進行 事務長）
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 部長あいさつ</li> <li>4 会議事項</li> </ol> <p>視察研修</p> <p>〔徒歩移動〕</p> <p>13:40～13:50</p> <p>サングリモ中込図書館見学（サングリモ中込2階）</p> <p>〔公用車移動〕</p> <p>14:10～14:25</p> <p>臼田図書館見学</p> <p>〔公用車移動〕</p> <p>14:45</p> <p>佐久市中込交流センターへ戻り、会議再開</p> <p>資料説明等</p>

中込地区中央グリーンモール再整備の基本設計について【図面資料】

- 会 長 現在、会議を行っているこの部屋が、「オープンスペース」になるのか。また、トイレは図書館の外にあるのか。
- 事務局 この部屋の窓側半分程度が「オープンスペース」になる。トイレは館外にあり、各施設で共同利用する想定。
- 委 員 この建物は、もともと公民館と図書館が入っている複合施設か。
- 事務局 ひとつの建物に、複数の所管課が管轄する施設が入っている。市が管理する公共の複合施設。
- 委 員 再整備の際に「つどいの広場」が移転し、様々な機能が入れ替わるようだが、他の施設は何らかの形で残るのか。  
また、「チャレンジ教室」とは何の施設か。
- 事務局 高齢者福祉課の「シルバーサロン」も移転する。そのまま残るのは、「図書館」、「共同作業センター」、「口腔歯科保健センター」の3つ。「つどいの広場」は、中込地区に新設される子育て関係施設へ移転する予定。  
「チャレンジ教室」は、適応指導教室（中間教室）のこと。
- 委 員 「チャレンジ教室」や「フリースペース」もあり、社会教育的な色合いの強い建物になりそうですね。
- 会 長 2階の「フリースペース」は、学習席のようだが、図書館が管理するのか。
- 事務局 未定。再整備計画を進めている都市計画課には、他の所管課に管理を任せたい旨を伝えた。都市計画課としても「フリースペース」の管理は、商工会に任せたい意向。現在、この「地域交流センター」は、商店街関係の交流できる貸館として商工会が運営しており、2階への移転後も引き続き「フリースペース」の管理を任せたいとのこと。
- 副会長 現在、サングリモ中込図書館は、中央図書館の分館という位置づけで、館長も中央図書館長が兼ねているが、職員体制など組織上の変化はあるか。面積が広くなれば、管理にもより手がかかる。先程、他施設と機能の入れ替え

予定があるということだったが、複合館内の施設として新機能を追加する、職員を増やしてサービスを充実させるということは予定しているか。

事務局

組織上の変更はないが、現在、正規職員が配置されていないため、1人置くことを検討している。増員実現の見通しは立っていないが、職員体制は見直す必要がある。

委員

「オープンスペース」が引っかかる。常に開けたままか。

事務局

この部屋の窓にあたる場所に、開閉可能な仕切りを設け、仕切りを開ければ内外どちらからでも自由に出入りできる「オープンスペース」を想定している。常時開けておくわけではなく、冬は仕切りを閉めて右の風除室から入る設計。

委員

入口は、図面下部の3つの三角形と、風除室下の三角形の部分か。事務室と隣接させるため、カウンターが館内中央にあるのか。

会長

そのようだが、外から来ると入口がオープンスペースと図書館で2つあり、職員のいるカウンターまで遠いように思う。

絵本コーナーは、ガラス張りで和室などの想定か。南向きで、日が当たれば相当暑いのではないか。冷房が必要だと思う。

事務局

都市計画課の提案は、気候の良い期間中、図面下部の3つの三角形の入口を常時開けて使用するというもの。冬場は、寒さにより解放できないため、風除室からの入口を設けるとのこと。

委員

図書館と「オープンスペース」との仕切りは、ガラス張りで中央に自動ドアを設置する想定か。空気が行き来するだろうか。

事務局

仕切りの詳細は未定。木の格子という案もある。

副会長

サングリモ中込の再整備計画は、中込地区の賑わいを復活させることが狙いのようなのだが、図書館はどの程度の利用を見込んでいるか。今後、職員数の見直しを行うとのことだが、現状に対してどの程度の利用が増えそうか、という視点でも考えてもらいたい。

会 長	<p>中込地区の賑わいがなくなってきたのは、駐車スペースがないことも要因か。昨今、すぐ駐車できない施設は、なかなか足を運んでもらえない。</p>
事務局	<p>その点も、要因のひとつと考えている。</p> <p>地元からの要望もあり、現在は同じ構造の別棟に駐車スペースを作り、実証的に使用している。今回の再整備計画では、駐車スペースを新たに作る形ではなく、図面のような形で検討を進めている。駐車場は、周辺で確保する方向で考えている。</p>
事務局	<p>中込地区周辺は、駐車場が比較的多く整備されているが、地方では車を建物に横付けしたい方が多く、駐車場が少ない印象を与える。駅前の大きな病院も公民館との複合施設で、裏手に大きな立体駐車場がある。駐車場が足りないわけではないが、有効活用できず施設利用に繋がらないのが現状。</p>
委 員	<p>サングリモ中込は、駅から近く電車で来るには良い立地だが、駅からまっすぐ続く道沿いに入口がない。駅からの動線に工夫が必要。中央グリーンモールに求心力ができれば、駅からの動線もできるかもしれない。</p> <p>他施設との機能入れ替えにより、図書館の主な利用者層の変化が予想される。新たに複合する施設の利用者を想定し、レイアウトや蔵書構成も変更する必要がある</p>
事務局	<p>駅から続く2つの道は、交差移動してもらうのが理想だが、活用できていないのが現状。</p> <p>利用者層の変化は予想していたが、くろさわ病院の北側に保育園の建設予定があることが判明した。結局、保育園児や保護者、「フリースペース」を利用する中高生、現在も利用の多い高齢者など、幅広い利用者層が想定される。</p>
副会長	<p>その中で、どの世代をメインターゲットに考えているか。</p> <p>また、どのような利用が想定されるか。例えば、保育園児なら、保育園の帰りに保護者と来館するという利用が考えられる。こうした、利用者の行動の仕方が気になる。利用する時間帯や、行動に合わせたサービスが必要。場合によっては、移動図書館車で保育園へ出向くのも良い。</p>
事務局	<p>当初は、詳細がはっきり決定しておらず、中高生をメインターゲットとして考えていた。近くに保育園ができるため、再考している。メインターゲットが未就学児、中高生、高齢者の3世代では、範囲が広すぎるかもしれない。</p>

会 長	<p>保育園の周りでは、園児が散歩している様子をよく見かける。散歩がてら、図書館へ来てもらうのも良い。</p>
会 長	<p>表 1 移動図書館車「草笛号」ステーション別利用状況【別紙資料 p. 1～】</p> <p>移動図書館車は、今後も継続運行するか。固定的な利用者もついているようだ。1コースには、100人以上利用のあるステーションもある。</p>
事務局	<p>施設にも巡回しており、まとまった利用のあるステーションもある。利用の少ないステーションもあるため、見直す必要がある。</p> <p>また、7コースのうち6コースが、旧佐久地域を巡回している。旧佐久市では図書館網を作るにあたり、移動図書館車での実現を考えていたと思われる。合併後、市の面積は広がったが、広がった地域を巡回しているのは1コースのみ。新図書館再整備にあたり、こうした移動図書館車頼みの現状についても見直す必要がある。</p>
副会長	<p>利用の推移はどうか。様々な地域を巡回しているが、利用の増減があるステーションはあるか。</p>
事務局	<p>基本的に横ばいで、どのステーションもコンスタントに利用されている。望月のステーションで利用者が増えたのは、福祉施設や保育園などの担当者が、借りた本の入れ替えを行ったためと考えられる。各施設の利用者が、直接移動図書館車に来て本を選ぶという利用は、今のところない。</p>
副会長	<p>違う施設、違うコースを巡回する前に、移動図書館車に載せる本を入れ替えると思う。様々な場所を巡回するため、相当大変な作業かと思う。巡回場所の絞り込みのようなことも、多少考えた方が良くと思う。</p>
事務局	<p>担当者は1人だが、次の巡回場所に訪れる利用者のことを考えて、少しずつ本の入れ替え作業を行っている。移動図書館車の書庫もあるが、利用状況を考慮して中央図書館内の本を載せることもある。</p>
副会長	<p>移動図書館車で、本以外のものを運ぶことは考えているか。買い物へ行くのが困難な地域で、物販をしている事例もある。物販以外にも、様々なサービスが提供できそうだと思う。</p>

事務局	<p>今のところ考えていない。移動図書館車のイメージどおり、山中のステーションも一部あるが、巡回コースのほとんどが旧佐久地域であり、比較的市街地を巡回しているため。</p>
委員	<p>5 臼田図書館【資料1 p.1～】</p> <p>臼田図書館の近くに新臼田小学校が完成したが、今後の学校連携に向けて、何か計画しているか。</p>
事務局	<p>現在、全校児童の市立図書館利用者カードの登録を進めているが、具体的な連携内容は未定。今後、先生方との顔合わせを行い、連携を推進したい。</p>
委員	<p>昨今の新しい学校図書館は、オープンな雰囲気的设计が多い印象だが、新臼田小学校はどうか。</p>
事務局	<p>入口が広く、立ち寄りやすい学校図書館。2階の廊下から、直接図書室へ下りる階段の幅も広く、児童が図書室へ吸い込まれるような設計。本への興味が希薄な児童も、自然にふらりと入れる良いスペースという印象。</p>
会長	<p>佐久市では、学校司書をどのように配置しているか。</p> <p>また、臼田小学校の学校司書は、フルタイム勤務か。</p>
事務局	<p>学校司書は、教育委員会が会計年度任用職員として雇用している。雇止めもあるが、比較的長く勤められる体制。</p> <p>臼田小学校の学校司書は、フルタイムではなく9時から16時までのパートタイム勤務。学校司書とは別に、司書教諭も配置している。</p>
会長	<p>全国的にみると、複数校を1人の学校司書が受け持つ場合が多い。</p> <p>また、学校連携としては、市立図書館から学校図書館の蔵書まで、そしてその逆も横断検索できるようにするという方法もあると思う。</p>
事務局	<p>先日、小中学校の学校司書と公共図書館の司書の顔合わせを実施した。旧佐久地域の学校数は多いが、臼田・浅科・望月地区は小中学校と図書館が各地域にひとつずつある。この機会に打ち合わせができ、今後の連絡も取りやすくなると思う。横断検索も、将来的には考えたい。</p>

(6) 地域館の在り方として職員が考えていること【資料1 p.4～】

委員

臼田図書館職員が考える「地域館として中央図書館に期待すること」の中に、レファレンスや参考資料の収集という内容がある。これは、新しい中央図書館のコンセプトを考える際にも重要。臼田図書館の集密書架のように、各地域館にも書庫スペースはあるが、佐久市として保存すべき資料を地域館に置ききれなくなる可能性がある。中央図書館は、保存図書館としての機能をどの程度持つのか、考えておかなければならないと思う。

また、佐久市内だけではなく近隣自治体を含めた東信地域として、あるいは県立図書館を巻き込んで全県域として、資料保存を考えてもらいたい。地域館の強みを生かしながら、一般書を保存する館、児童書を保存する館といった分担ができると良い。すべての資料を中央館が保存するのは、難しい。佐久市としては、保存図書館の役割についてどのように考えているか。

事務局

具体的には未定。今後、デジタル化が進んでも紙の本を1冊は持つことを考えておかなければならないと思う。

今日見学した臼田図書館の書庫は比較的良いが、浅科図書館・望月図書館の書庫は、保存という点においては非常に厳しい状態。中央館建て替えの際は、保存を相当考えたスペースを作る必要がある。

7 移動図書館【資料1 p.7～】

委員

相互貸借と移動図書館車の動きは、何かリンクしているのか。3週間に1度の巡回では、あまり利用できないか。

事務局

貸出期間的に、少し難しい。移動図書館車に載っている本を相互貸借に利用することはできる。

委員

各館にない本のリクエストを受けたら、中央館から地域館へ届けるのか。

事務局

各館でリクエストを受け付け、購入なども手配する。中央館が取りまとめることはない。資料の購入と除籍に関しては、各館で行う。

会長

例えば、利用者が、中央図書館にある本を臼田図書館で受け取りたい場合、移動図書館車が届けるのか。

事務局	<p>移動図書館車ではなく、別に配送車を回している。毎日というわけにはいかないが、週に2回全館を巡回している。</p>
副会長	<p>学校図書館への貸出も行っているのか。</p>
事務局	<p>学校への配送や移動図書館車での巡回貸出はない。学校司書が市立図書館へ来館した際に貸出を行う。</p> <p>学校司書が勤務時間内に市立図書館へ行くことについては、学校側へ了解を得てはいる。</p>
副会長	<p>学校司書が相当大変だと思う。</p> <p>学校と市立図書館との連携をスムーズにするためのシステム整備は、大切なことだと思う。市立図書館がすべて引き受けるという意味ではなく、全市的に体制を整える必要がある。少なくとも、教育委員会レベルで考える必要のある話だと思う。</p>
<p>表3 県内19市人口1人当たり図書費順位表【別紙資料 p.3～】</p>	
委員	<p>塩尻市は、なぜ図書館の利用が活発なのか。どういう特色のある図書館なのか。</p>
事務局	<p>本当に様々な特色のある図書館。まず、新しい図書館ができる時に、市民による会議や対話が盛んにあった。完成後、まちづくりの関係部署と連携し、市民活動も活発に行っている。図書館に関して言えば、ビジョンを持った図書館長が働きかけたことも大変大きかった。資料費や雑誌タイトル数も充実しており、職員の司書率も高い。研修にも積極的に参加させ、研修費も図書館が出している。</p> <p>また、現在は公共図書館が学校図書館を管轄している。普通、学校司書は学校教育課の管轄になるが、塩尻市の場合は市立図書館が学校司書の仕事をとりまとめている。職員制度では、会計年度任用職員でも長く務めた職員にはそれなりの待遇をするという、独自の職員制度も用意している。このように様々な形で人的体制を整えている。</p> <p>それから、本の寺子屋というイベントも実施している。本当に様々なことを積極的に行っている図書館。</p>

会 長	<p>日本図書館協会では、10年以上図書館に勤め、参加した研修によってポイントを計算し、論文を提出した方々を審査して認定司書と呼んでいる。頑張っている司書を認定する事業。現在、全国に160数名の認定司書がいるが、今年は塩尻市立図書館から2名が認定を受けた。つい先月交付式を行い、認定証をお渡しした。そういう形でも、職員の研修やレベルアップに努めている図書館。</p>
事務局	<p>塩尻市立図書館の2人の認定司書は、非正規職員か。</p>
会 長	<p>そう。</p> <p>また、今話題となっているように店をたたく書店が多い中、塩尻市立図書館では書店と連携して、本の寺子屋というイベントも開催している。</p>
委 員	<p>塩尻市立図書館の元館長に、長野県図書館協会公共図書館部会の令和5年度館長研修で講演していただいた。塩尻市は、市民当たりの資料費が最も高いが、購入する本の内容を非常によく考えているそう。通常、図書館資料の購入割合は、世の中の出版分野ごとの傾向とは異なり、文学の分野が突出して多い。しかし、塩尻市では、世の中でよく出版される本こそ利用者が求めている内容の本だという考えのもと、社会科学や医学などの分野を多く購入するという割合に変えたそう。こうした本の買い方は、建物を新しくする前から始めた。建物が新しくなったことで入館者数が伸びたように思われるが、実はその前から入館者数が増えていたとのこと。何の本を買うか、どんな資料を提供するかを変えれば、利用は変わると話されていた。</p>
委 員	<p>それは、どのくらいの年数をかけて実施したのか。建て替えは何年前か。</p>
委 員	<p>建て替えからもう10年以上経つ。</p> <p>佐久市でいえば、再整備計画を立てている、ちょうど今頃の時期から購入する本を変えたことで、図書館にはこんな本があるという利用者の認識が変わった。建物も綺麗に大きくなり、居場所が増えたこととの相乗効果で、利用者も貸出も増えたと話されていた。</p>
事務局	<p>以前、建て替え前の塩尻市立図書館を利用していたが、建て替えが決まった段階で、図書館の中身が徐々に変化していた。やはり、新しい図書館はぱっとできるわけではない。助走期間に、いかに良い図書館サービスを実施するかが大切だと目の当たりにした。</p>

委員	<p>出版業界でいうと、小説の売り上げだけではなく、実は実用書や健康の本が多いということかと思う。それに即した蔵書構成へ、少しずつシフトしていったということか。</p>
会長	<p>それが、利用者に受け入れられれば良い。</p> <p>図書館は、利用者が読みたい本か職員が読んでもらいたい本か、どちらを所蔵するのかという議論が、伝統的にずっと続いている。書店との兼ね合いもあり、難しい問題。小説やエッセイなど文学の分野は利用者も多いため、利用者とのコミュニケーションがうまくいかないとトラブルのもとになりかねない。</p>
委員	<p>市民とのコンセンサスを作ることは、容易ではないと思う。今、大変問題になっているベストセラー小説の複本問題について、塩尻市立図書館では複本を多数購入しないことにしたそう。相当たくさん予約がつくが、利用者にとっていただくことで、成功されている様子。</p> <p>選書は、誰がどの単位で行うかがとても大切だが、佐久市では各地域館がそれぞれの地域社会の中で果たしてきた役割があるため、統一はとても難しい。中央館で、統一ルールのもとに選書をするのは、利用者に受け入れられないかもしれない。</p>
事務局	<p>どういう形で選書をするか、これから考えなければならない。どうしても複本が多くなっているため、見直したいと考えている。児童書に関しては、複本を持つのは構わないと思うが、多様な本を佐久市の図書館として所蔵したいと思う。塩尻市立図書館では、複本は数冊のみとのことだが、佐久市では5冊。各館が1冊ずつ所蔵する形だが、複本の是非については引き続き考える。</p>
副会長	<p>選書に関わる職員で、話し合いの場は持ったか。選書について、各々の考えを持ち、大切にしていることがあると思う。私は、もともと日本図書館協会で選書の研修などを行っていた。図書館へ出向き、選書に関する研修などをしてきた。どの図書館職員も、選書に命を懸けている印象。だからこそ、意見をぶつけ合う機会が必要だと思う。他の人がどう本を選ぶのか情報共有すると良いと思う。</p>
委員	<p>統計を見ると、佐久市は県内19市人口1人当たりの図書費や蔵書冊数の順位よりも、貸出冊数の方が上位で素晴らしい。よく使われている図書館ということ。</p>

事務局	その意味では、大変忙しい中カウンター職員が頑張ってくれている。しかし、その他のサービスまで手が回らず、サービスの計画も立てられていない。その点も、改善が必要だと考えている。
委員	カウンターが忙しく、企画立案の時間がないということ。自動貸出機を導入すると、人件費を減らされるという話もある。貸出業務ではなく、企画立案などに人を回して、市民がより親しみやすい図書館にしたいという思いを、行政の方に聞いてほしい。図書館職員共通の悩みで、下手に自動貸出機の導入を提案すると、職員を減らされるため、なかなか言い出せないという話もよく聞く。
委員	できることが増えても、それに比例してスタッフが増えることはないということか。
委員	逆に減らされるのが現状。効率化できるところやセルフサービスにできるところは変え、人間でなければできないことに取り組みたいところだが。
委員	DX化できるところは導入し、人間でなければできない仕事、例えばサービスの企画立案などに人を向けたいということか。理想としては。
委員	理想としてはそう。例えばICタグや自動貸出機の導入を検討する場合、本に対する手当にもコストがかかるうえ、建物の構造的にICが動かないという話も聞く。建て替えはDX導入のチャンス。図書館の機能と、その中で人がどのように機能するのかという話がセットでできると良い。省力化の機械を導入しても、職員が減らないようにしたい。
副会長	IT関係は選択肢が増えているため、ICタグありきではないと思う。情報を集め、様々なやり方を考えた方が良いと思う。注目されている、対話型生成系AIなども使い方によっては有効。
会長	スーパーマーケットなどもセルフレジが導入されていることから、図書館もセルフ貸出が良いと思う。将来的には、ウォークスルーで貸出ができるかもしれない。
委員	一方で、カウンターで貸出時に利用者と交わすやり取りも大切にしたい。セルフ貸出にシフトしていった時、利用者と交流ができるような、別のより良い手段も考えておきたい。

	<p>駒場公園の現状について【別紙地図】</p>
委員	<p>佐久市の場合、制約条件によってある程度決まってしまうと思うが、動線の作り方が重要。レストランやカフェの併設という話も出ているが、駒場公園内の他施設との関係の中で、図書館の強みを出していくという方針が見えると良い。人の動線や駐車場の作り方は様々な方法があると思う。現在の中央図書館の立地は、駒場公園内での良い場所か再検討の必要がある。創造館の閉館後の場所などはどうか。</p>
事務局	<p>県有地のため、建物がなくなっても県から土地の譲渡を受けなければならない。また、創造館の閉館は、利用者団体からの反対もあり1年間延期となった。</p>
委員	<p>創造館の閉館延長期間の1年間で、利用者団体に納得感のある説明をすることができる見込みはあるのか。</p>
事務局	<p>現状、県との交渉も停滞している。1年間で決着がつくかは不透明な状況。また、公園北側の道を直線化してほしいと地元から要望が出ている。直線化すると、北側の駐車場確保の問題も発生する。</p>
会長	<p>土地の用途が、全面的に公園に指定されていれば、それも難しい。また、公園の中で公共施設を建てる時、公園に対して何%という面積割合が決まっている。創造館がなくなると、新しい建物が建てられない可能性もある。</p>
事務局	<p>令和8年度の開館を目標に検討を進めてはいるが、創造館の今後の情勢によっては、少し日程の再検討を要するのではないかという状況。</p>
	<p>5 その他 今後のスケジュールについて</p>
	<p>6 閉会</p>